

2020年8月21日  
SCSK株式会社

## 第14回 キッズデザイン賞、14年連続で受賞 ～SCSKの次世代育成活動「CAMP」～

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 社長執行役員 最高執行責任者:谷原 徹、以下 SCSK)は、第14回キッズデザイン賞(主催:キッズデザイン協議会、後援:経済産業省・内閣府・消費者庁)において、「CAMPぼんやり灯ワークショップ」がキッズデザイン賞を受賞しましたのでお知らせします。

SCSKは、本賞の創設以来、今回で14年連続の受賞となります。



### 1. キッズデザイン賞について

キッズデザイン賞は、「子どもたちが安全に暮らす」「子どもたちが感性や創造性豊かに育つ」「子どもを産み育てやすい社会をつくる」という目的を満たす、製品・サービス・空間・活動・研究の中から優れた作品を選び、広く社会に発信していくことを目的に2007年に創設されました。

子ども用にデザインされたものはもちろん、大人・一般向けに開発されたものでも、子どもや子育てに配慮されたデザインであればすべてが対象です。

<https://kidsdesignaward.jp/>

### 2. 受賞作品について

■作品名:CAMPぼんやり灯ワークショップ(対象:小学1年生～小学3年生)

■内 容:子どもたちが3人組になって、障子紙とカラーセロハンを使いぼんやりと淡く光る二重構造の行灯をつくります。平面から立体への変化・光る前後の見え方の変化を通して、子どもたちの感受性を引き出し、表現する楽しみを体験することができます。



### 3. 「CAMPぼんやり灯ワークショップ」開発時の工夫ポイント

CAMPではグループでの共創をどのワークショップでも大事にしています。コミュニケーション経験が少ない低学年では、相互理解や意見をまとめるグループワークを行うために、こどもたちが他者への関心を持てるよう、対話のきっかけを引き出す工夫が課題としてありました。また、一方向からのものの見方だけでなく多面的なものの見方を体験することで、こどもたちの感受性を引き出し、好奇心や発想力を育てることができないかと考え、開発しました。

#### ■課題解決に向けたワークショップの工夫

**ぼんやり灯の二重構造** ぼんやり灯は色画用紙とカラーセロハンを使った内側と、障子紙と様々な素材を使った外側の二重構造になっており、層としての見せ方、複雑性を簡単に表現することができます

**構造と台紙サイズによる活動形態の変化**

**制作①ー内側：個人活動**  
台紙となるB4サイズの色画用紙を選び、アイデア出しで考えたモチーフを切り抜き、カラーセロハンを使って貼っていきます。セロハンを重ねて色をつくる工夫も。そして個々に制作した作品がつながって、グループでひとつの絵になります。

**制作②ー外側：グループ活動**  
グループ全員で、大きな1枚の障子紙(幅150cm×高さ60cm)の上にいるいろいろな素材を使って制作します。内側の制作を経て、こどもたちのコミュニケーションも活発に。また、絵巻物のように長尺でこどもたちの体よりも大きい紙を使うことで、こどもたちの創造力も膨らみ、協力しながら仕上げていきます。

個からグループへ

**見え方の変化**  
ライトがつく前は、外側の造形しか見えませんが、ライトがつくと、内側のモチーフが外側の障子紙にぼんやりと浮かび上がります。二層になることで生まれる内外の関係性と見え方の変化が生まれ、こどもたちにワクワク感をあたえます。

点灯すると・・・

外側のモチーフが影となり、内側のモチーフが浮く！

**平面から立体への変化**  
低学年には立体への表現方法や、空間の概念理解が難しいですが、平面を丸めて立ち上げることによって、簡単に円柱状の立体を表現することができます。平面での制作がちょっとした工夫を加えることで表現がひろがります。こどもたちに視点の変化や表現の幅を感じてもらいたいと考えました。

丸めることで立体に！

### 4. 主な受賞履歴

SCSKでは2007年度からキッズデザイン協議会に参画し、キッズデザインを積極的に推進しています。これらの取り組みの結果、14年連続でキッズデザイン賞を受賞(計20点)しています。

#### 上位賞受賞年度・内容

2007年度	CSK(現SCSK)グループの社会貢献活動	審査委員長特別賞社会貢献企業賞
2010年度	CAMPすいそく・かいぞく・図鑑ワークショップ	審査委員長特別賞
2011年度	PaPeRo ミニシアターワークショップ	キッズデザイン協議会会長賞
2013年度	CAMPファシリテーター	キッズデザイン協議会会長賞

●これまでの受賞履歴一覧：<http://www.camp-k.com/report/award/>

## 「CAMP」とは

SCSKグループは、人間性の尊重と社会における人材の育成を企業の社会的責任ととらえ、次代を担う子どもたちの育成においても積極的にその責任を果たしていくため、グループをあげてCAMPの活動に取り組んでいます。



創作体験や共同作業、作品の発表を通じて、子どもたちが楽しみながら自分に合った表現方法を見つけ、コミュニケーションの輪をひろげていく、それがCAMPのワークショップです。

CAMPワークショップでは、作品を完成させることやきれいに仕上げるといった結果よりも、ワークショップで子どもたちが体験するプロセス「考える」「つくる」「つながる」「発表する」「ふりかえる」を大切にしています。そして、そのプロセスにおいて、子どもたちが主体的に楽しんで活動できることがなによりも大切だと考えています。

●「CAMP」サイト: <http://www.camp-k.com>

●「CAMPぼんやり灯ワークショップ」の様子

2018年12月23日開催レポート: <http://www.camp-k.com/wsreport/1007/>

●最新の取り組み: オンラインワークショップ「おうちCAMPワークショップ『まぼろしツアー案内所』」

新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた社会情勢を鑑み、自宅からオンラインで参加できる「おうちCAMP」を新たな形のCAMPワークショップとして企画・開催しています。

➤ 2020年8月8日～9日開催「おうちCAMPワークショップ『まぼろしツアー案内所』」



開催レポート: <http://www.camp-k.com/wsreport/1047/>

## 本件に関するお問い合わせ先

【CAMPに関するお問い合わせ先】

SCSK株式会社

サステナビリティ推進部 社会貢献課 CAMP

TEL: 03-5144-6400

E-mail: [contact@camp-k.com](mailto:contact@camp-k.com)

【報道関係お問い合わせ先】

SCSK株式会社

広報部 後藤

TEL: 03-5166-1969

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。